高教組HPにもUPしています。「兵庫高教組」検索

兵高教組　2026年6月15日
調査情報　4号

兵庫県高等学校教職員組合調査部
TEL：078-341-6745　FAX：078-351-3185
URL：http://www.hyogo-kokyoso.com
mail：honbu@hyogo-kokyoso.com

「N-E.X.T.ハイスクール構想」って何？

６２億円！が４つの高校だけに配分

こんな予算の使い方、おかしくありませんか？

「N.E.X.T.ハイスクール構想」をご存じですか。N.E.X.T.とは **N** ew **E**ducation（新しい教育）、New E**x**cellence（新しい強み）、New **T**ransformation（新しい変革）の略語というか文科省による造語で、文科省が主導する2040年を見据えた高校教育改革のこと。「2040年問題」とは、団塊ジュニア世代が65歳以上に達し、高齢者人口がピークに達することから、介護・医療・年金制度が人材不足等の理由で崩壊するといわれている問題です。そして、この構想、すでに動き出しています。

文科省が高校のモデルを提示

そもそもこの構想の軸となるのは、以下の3類型の高校です。

①アドバンスト・エッセンシャルワーカー等育成支援

主に専門高校で産業界・大学と連携しながら、AI・ロボット等を使い、地域の産業・社会基盤を支える高度専門人材の育成をはかる高校。

②理数系人材育成支援

文系・理系の枠にとらわれず、データサイエンスや生成AIなど活用した文理横断的な探求学習を推進する高校。普通科が多いと考えられるが、カリキュラムは未定。

③多様な学習ニースに対応した教育機会の確保

人口減少地域や離島など地理的条件に左右されないよう、遠隔授業（サテライト授業）や学校間連携を活用し、質の高い学びの選択肢を保障。

構想を説明した文科省の資料には、エッセンシャルワーカー育成や人口減少地域も含めたすべての生徒を対象にするという点など、評価できる表記はありますが、AIを活用した教育による「人材育成」が目標とされています。そう、この構想が掲げる教育の目標は「人格の完成」ではなく「人材の育成」なのです。

この構想の発表は2月、「改革先導拠点校（指定校）」は全国に設けられ、全ての都道府県に等しく62億円が配分。そして指定校（上限4校）の申請〆切は5月15日。非常に拙速です。先日の全教が関わる全国会議（高校教育懇談会）で2県から報告がありましたが、埼玉では4校（総合学科、多部制各1校と普通科2校）、福井では3校が指定。埼玉では組合が対県交渉を行い、お金の使い道が誤っているとして計画の是正を求めましたが、「文科省管轄の事業であり、変更できない」との回答だったそうです。

兵庫県も「指定校」申請済　情報･ご意見をお寄せください

兵庫県はどうなのか。先日高校教育課に問合せたところ、驚きの事実が判明しました。まず「指定校」については、公募せずに決定して既に文科省に申請済で、今は審査待ちだとか。県内の経済界や県庁の産業労働課に打診して、4校が選定されたそうです（専門高校1、普通高校3）。他県と同額の62億円、1校あたり15億円強の予算です。使途については文科省による様々な制約があるそうです。

年初に、県知事は授業や行事で体育館のエアコン使用を認めるとしましたが、体育館にエアコンがない県立学校は多数あります。62億円あれば、体育館へのエアコン設置がどれだけ進むでしょう。

計画立案で多忙を極めたと思われる「指定校」の教職員の皆さん、状況等をお知らせください。また、この構想に関する皆さんのご意見・情報もお寄せください。連絡先は上記にあるとおりです。

少しでも労働条件の改善を　そのためにあなたも高教組へ！